

パネル展示

「目からウロコ」の男と女

日常生活の中のちょっとしたシーンの中で、「これはおかしい」と思うことの中には、人々の考え方に潜むジェンダーにしばられていることが原因となっているものがあります。「女だから…」「男のくせに…」—そんな言い方で傷ついたことはありませんか？

ユーモアあふれるイラストで表現されたパネルの展示です。全38タイトル、きっとあなたも共感できるものばかりです。クスツと笑いながら、男女共同参画にまつわるさまざまな問題点を考えてみませんか。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

10/6(火)～10/15(木)

9時～21時

エセナおおた 2階談話コーナー

●「母の手」だけでは足りません



●車内は女性のハダカで“花盛り”



(日本女性学習財団 所蔵パネル「なるほどジェンダー」)

主催：大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

共催：大田区

この事業は NPO 法人男女共同参画おおたが区の補助を受けて実施しています。

働く女性は増えたけれど…（非正規雇用の7割は女性）

男女の賃金格差は「先進国随一」

女性の社会参加を阻むのは誰？

子育て支援もやっぱり女の役目？

車内は「女性のハダカ」で花盛り

「産む、産まない」はわたしが決めることなのに…

育休はあるけれど…取得に理解のない企業風土

恋の顔した暴力にご用心！！「デートDV」

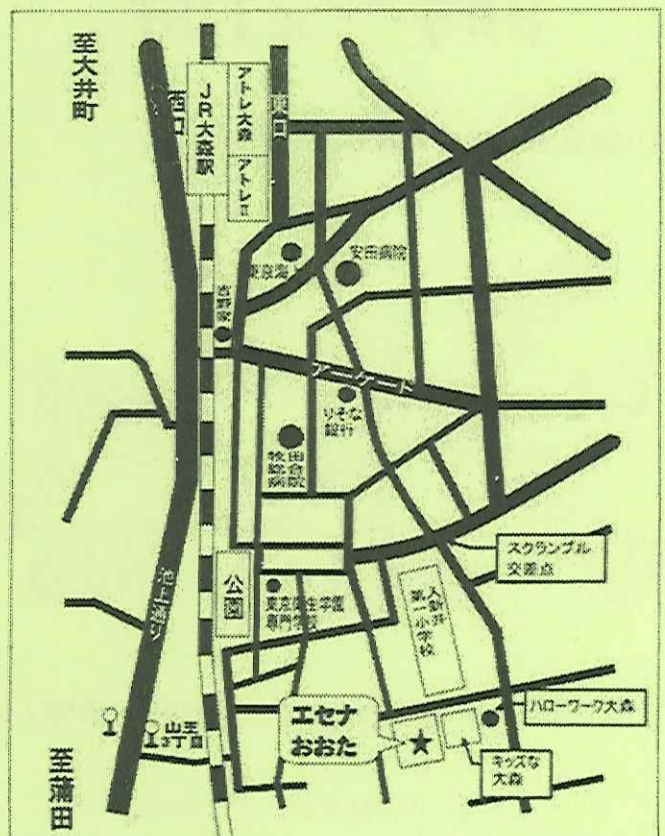
「母の手」だけでは足りません

「自分らしく」じゃいけないの？

「社会的に作り出された男女の違い」を意味するジェンダーという概念は、1970年ごろから登場し、現在では広く使われる言葉となりました。ふだん私たちが無意識にとる行動、言動の中にある矛盾や思い込みをふり返って、ジェンダーに敏感な視点を身につけましょう。

■問合せ先

大田区立男女平等推進センター
「エセナおおた」
〒143-0016 大田区大森北 4-16-4
TEL : 03-3766-4586
FAX : 03-5764-0604
E-mail : escena@escenaota.jp
HP : <http://www.escenaota.jp>



JR京浜東北線 大森駅より徒歩8分
駐車場はありません。